



初日の様子(新任式・始業式・入学式)

4月10日(月)、子どもたちが、今年度初めて登校する日。私は、正門前で子どもたちを待っていました。「この人、誰？」というような感じの子も中にはいましたが、それでもきちんと「おはようございます」の挨拶を返していました。特に、高学年の通学班長さんのしっかりとした挨拶が、印象的でした。

正門前では、6年生が自主的に挨拶運動にも取り組んでいました。入学式準備のときと同様、最高学年としての自覚を感じました。

新任式では、今年度から潮見小学校に来た11名の教職員の紹介をしました。6年生の代表児童が、心のこもった歓迎の言葉を伝えました。

始業式でも、6年生の代表児童が、今年度頑張りたいことなどをしっかり発表しました。ここでも6年生の力を感じました。

学級担任の発表の際には、歓声が校舎内に響いていました。それだけ、子どもたちにとって学級担任が誰であるかは重要なことであり、裏を返せば学級担任は大きな影響力があるということが言えます。そのことを自覚して、教育活動に取り組むようにしていきたいと考えています。

初日は、入学式があるので学級開きの時間が大変短く、自己紹介をしたり、配付物を配ったりするだけで終わってしまいます。それでも、学級担任がそれなりに工夫をしながら、大事なことを伝え、初日の時間を大切に使っていました。しばらくの間、決め事が多くなりますが、少しずつ学級に慣れていってほしいと思います。

入学式では、92名の1年生が、新たに潮見小学校の一員となりました。全員が入学式に参加できたことが、何よりうれしかったです。1年生は、私やPTA会長さんの話にもしっかり反応していたので、よく聞いていることが分かりました。

6年生の歓迎の言葉も立派でしたし、後片付けも最後までしっかり行いました。

令和5年度のスタートを、この日の天気と同様、気持ちよく切ることができました。今後も、子どもたちに寄り添いながら、活動していきたいと思っています。

